

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 帽子デザイン科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アクセサリー	授業期間	(後期)

担当教員(代表)：筋野 久之	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ジュエリー・アクセサリー商品の基礎知識の習得。
- ・ アクセサリー制作における各種素材の扱いと基礎的技法の習得。
- ・ アクセサリー制作における用具の扱い方を制作実習にて習得する。

【授業計画】

- オリエンテーション
 - ・ カリキュラム内容についてジュエリーの商品知識・・・1コマ
 - ・ 講義、実習
- ワックス（鑄造）による作品
 - ・ ワックスによるワックス原型の製作・・・3×2コマ（オリエンテーション含む）
 - ・ 講義、実習
- 切り回しによる作品
 - ・ 各金属素材の特性や扱い方・・・3×2コマ
 - ・ 講義、実習
- 金属の研磨
 - ・ ワックスからの地金の研磨の方法・・・2×2コマ
 - ・ 講義、実習
- すり出しリング
 - ・ 銀の加工方法バーナーの使用・・・4×2コマ
 - ・ 講義、実習
- 樹脂・プラスチックのアクセサリー樹脂
 - ・ プラスチック・アクリル板の扱い方・・・3×2コマ
 - ・ 講義、実習

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

文化服装学院工芸科卒業後、シルバー、ジュエリー加工職人として勤務。その後、伊勢丹新宿店リペア・リフォームジュエリーの加工を担当する。2011年株式会社 Suzy を立ち上げ、ジュエリーリフォーム、デザイン、ブライダルジュエリー、ジュエリー教室等の会社の代表取締役となる。様々な経験から、職人、現在のジュエリー業界、経営に関する知識やスキルが豊富で、即戦力となれる人材育成に力を入れている。

記載者氏名 筋野 久之

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1	科 名 帽子デザイン科 1年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ハンディクラフト	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックをまとめ、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

【授業計画】

* エンブroidアリー

- ・ カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習 (4.5)
- ・ ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得 (2)
- ・ キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習 (2.5)
- ・ コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習 (2)
- ・ ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習 (1.5)
- ・ ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習 (0.5)
- ・ ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作 (1)

* 布の加工

- ・ アププリケ 布を切り貼りするテクニックの実習 (1.5)
- ・ スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習 (1.5)
- ・ カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習 (1.5)
- ・ フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的な
テクニックの実習 (1.5)
- ・ リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習 (1.5)
- ・ ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習 (1.5)
- ・ キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習 (2.5)
イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

* レース

- ・ マクラメレース ひもを手で結び模様を表現するテクニックの実習 (2.5)

* 一年間の技法を1冊のファイルにまとめる

- ・ 技法のまとめ (1)

【評価方法】

制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸
参考図書	
その他資料	各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション工芸各科	単 位	単位
科目コード	科目名 現代ファッション論	授業期間	前期 単位

担当教員(代表)：関谷麻美

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現代において国際的に流通している“ラグジュアリーブランド”は、流行を牽引するだけでなく、全世代の強い憧れの的でもある。それらには長い歴史があり、時代の流れを読みながら発展してきたブランドがほとんどだ。さらに 21 世紀に向けて環境問題と向き合い、“サステナブルファッション”を提案するブランドも数多い。この講座では著名なラグジュアリーブランドの成り立ちと現在の動向、そして未来への展望を掘り下げる。

内容	方法	コマ
「イントロダクション」現代のラグジュアリーブランドとは？ + 全 14 回の講義の流れ	講義	1
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり①＝シャネル」	講義	2
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり②＝ディオール、サンローラン」	講義	3
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり③エルメスとルイ・ヴィトン」	講義	4
「パリ＝パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”の国際化とサステナビリティ①」	講義	5
「パリ＝パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”の国際化とサステナビリティ②」	講義	6
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転①」	講義	7
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転②」	講義	8
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転③」	講義	9
「イギリス・ロンドン＝バーバリーからヴィヴィアン W、ステラ M の地球に優しいファッションまで」	講義	10
「現代ファッションにおいて最も重要なキーワード＝“サステナブル”について」	講義	11
「日本・東京＝欧米経由で国際的になった日本ブランド 1970 年から現代まで」	講義	12
「アメリカ・NY＝ブルックス・ブラザーズからラルフ ローレン、マーク J、マイケル K まで」	講義	13
「パリ・ヴァンドーム広場のハイジュエラー」	講義	14

【評価方法】

出席率・遅刻率、授業への積極的な参加（挙手、質疑応答など）、課題の提出・内容から総合的に判断する。

主要教材図書 毎回の講義にはパワーポイントによる資料をモニターで提示。

参考図書 講義で取り上げたブランドの公式ホームページ。

その他資料 wwdjapan.com

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション誌編集者・ジャーナリストとして、常に最先端のラグジュアリーブランドに触れている経験を生かし、スピーディに変化してゆくブランドの動向を的確に捉え、解説する。また、現代とこれからのファッション業界で外せないキーワード「サステナブル」についても、随時、触れながら、時間のあるかぎり詳細を伝えていくように心がける

記載者氏名 関谷麻美

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1・GF1・ GG1・GH1・GI1 科目コード	科 名 ファッション工芸各科 科目名 デザインプランニング演習	単 位 授業期間	1 単位 (後期)
---------------------------------------	------------------------------------	-------------	----------------

担当教員(代表)： 佐藤功人	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>デザインに至るまでのプロセス・テーマの掘り下げ・コンセプトの固め方 企業・フリーランスデザイナーが行っている作業を実践すると共にプレゼンテーション能力を身につける。</p>
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>昨年は4科が合併して初の講義でした。今期も4科が合併して講義ですのでそれぞれの科の特性を活かした企画からプレゼンテーションが出来るよう努めたいと思います。</p> <p>タイミングが合えばそれぞれの科に向けた産学共同プログラムに繋げる事が出来れば良いと思っています。</p> <p>通り一辺倒な講義は潮流を見失う事にも繋がる恐れがあるため、初回から3回目(計3コマ)の講義の中で、本年度の生徒の個性を掴み柔軟な講義を進めたいと考えております。</p>

<p>【評価方法】</p> <p>実践型で創る⇒伝える(プレゼンテーション)を実施。総合的に判断しコメントによる評価する。</p>

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 講師が外部委託業務で行ってきた資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>普段からファッションに対しての感受力を上げる。自己実現に向けた0⇒1企画に対して柔軟な脳を機能させる。</p> <p>教員プロフィール</p> <p>COMME des GARCONS・NICE CLAUP・beige shop/RYUICHIROSHIMAZAKI アパレル3社を経て独立、PB【norihito sato】を中心に外部業務委託デザイナーを請負う。</p> <p>メンズ/レディースアパレルブランド・MIZUNO/DESCENTE等スポーツブランド・ユニフォーム業界と幅広く精通。様々な販売形態にも対応 百貨店アパレル・GMS・SPA・通販カタログ・TVショッピング等。</p> <p>2018年3月に公表された 陸上自衛隊 常装制服改正や企業ユニフォーム等に携わる。</p> <p>2019年O H R A I (プライベートブランド) 商標登録</p> <p>デザイナー業+マーチャライジングのキャリアを活かしプロダクトアウトの為にマーケットイン発想と共に絵を載せるに相応しい『魂』宿る商品開発に従事。様々な企業間コラボレーションを実施。</p>

記載者氏名 佐藤功人
